

学生のみなさんへ～2026 年度新学期の始まりによせて～

総長 藤井輝夫

新しい年度が始まりました。学生のみなさんも、思いを新たに、幅広い学修や深い研究、さまざまな課外活動に取り組もうと考えておられるでしょう。高い意欲と旺盛な好奇心をもっているみなさんのそれぞれの挑戦が、この東京大学で花を咲かせ実を結ぶことを、私たちも楽しみにしています。

さて、本学教員の不祥事をめぐる、今般のさまざまな報道に憂慮されている学生のみなさんも少なくないと思います。これから学び始めようとしている新入生を含め、本学で学ぶすべての学生のみなさんに対し、ご心配やご迷惑をおかけしていることを深くお詫びいたします。

東京大学の教職員として法令遵守だけでなく、高い倫理意識をもって社会的・公共的責務を果たすことが求められているなか、収賄容疑での教員の逮捕・起訴が相次いだことは、本学にとって痛恨の極みです。これを受けて昨年度中には再発防止のための対策や改革を議論し、本部主導の統一的なガバナンス体制を構築しました。本学の信頼の回復と更なる発展に、教職員が一体となって取り組んでいきます。

また、国際卓越研究大学が審査継続となっていることでも、不安が生まれているかもしれません。この申請は、本学のより一層の発展のために行うもので、在学生にその成否が否定的に作用することはありません。財政基盤や経営体制の整備を含めた申請内容に関しては、「極めて挑戦的な改革構想」として一定の評価も受けており、さらなる理解を得ることを通じて、認定の獲得を目指します。

学生のみなさんが日々の学びに集中できるようにすることは、何よりも優先されるべき大学の責務です。どの学部・学科・研究科・専攻でも、みなさんの探究心を受けとめ、成長を育む体制の一段高い充実に不断の努力を続けています。本学において教育研究の実践や環境が支障をきたすことはありませんので、その点は安心していただきたいと思います。

2027 年 4 月に創立 150 周年を迎えるにあたり、本学は「響存」という理念を掲げました。この機に臨んで、大学の歩みを振りかえるとともに、一人ひとりの新たな知の創造への取り組みが響きあうことで、東京大学が多様な人びとと出会い対話する場としてよりよいものとなるよう、私もまた力を尽くします。